

ふちゅう歴史散歩

Vol.62

坊迫C遺跡 中世の寺院跡



坊迫宝塔 礎石建物1棟（手前）と石積みの古墓（奥）



坊迫C遺跡は、中世の寺院跡で、桜が丘団地の造成に伴う発掘調査により、礎石建物跡や木棺墓・古墓などが確認されました。

礎石建物は2棟並んで見つかりました。いずれも方三間で廻縁の付いた仏堂形式の建物で、平面規模は一辺約10m、13世紀の鎌倉時代に建てられたものです。周辺から軒瓦や鬼瓦を含む瓦類が出土しており、瓦葺きであったと考えられます。

木棺墓や古墓は、建物の東側で見つかりました。鎌倉時代に木棺墓が造られた後に、石積みの古墓が造られ、15世紀の室町時代まで機能したようです。古墓からは五輪塔や骨蔵器も出土しました。また、近くの丘陵上には府中市指定重要文化財の坊迫宝塔（南北朝時代頃）があり、遺跡と何らかの関係があると思われる。

遺跡現地は造成によって失われましたが、中世の府中を語る出土品の一部は、歴史民俗資料館で見ることができます。また、草戸軒町遺跡と同時期の土師質土器5点が、広島県立歴史博物館（福山市）の常設展で、来年3月末まで展示中です。

—市民レポーターが府中の魅力を投稿します—

ふちゅう Sai 発見!

市民編 その8

あやめまつり

今年「四季の里あやめ園」と「安福寺花菖蒲園」の共催で、43回目の「あやめまつり」が開催されます。今年は昨年平家谷より譲り受けた株が、3町分増えて一層賑やかになります。6/11～6/26までです。

昭和47年、安福寺住職濱野勝道さんがご自身の田んぼに移植されたのが始まりで、次の年より元町長山岡さんが転作奨励金を100万円、次の年より毎年150万の予算を16年間続けられ、次の梶田町長の時代に現在の公園として上下町で買い上げられた経緯です。最盛期の昭和62年・63年には3万人以上のお客さんで賑わいました。

山際には、キャンプ場も整備され、その奥では国指定の岩海の緑陰にも癒されます。



投稿者（文と写真）

宇野 和孝さん
プロフィール
Photo club写心、芦品フォートクラブで活動中。



府中市の「レジェンド」として、この西日本有数の300種10万株の「あやめ園」の発展を願っております。

問い合わせ先 「矢野温泉公園四季の里」あやめ園（☎62-4990）

平成28年6月1日(1213)号

広報ふちゅう

(毎月1・15日発行)



ご意見、ご感想をお寄せください。

編集発行：府中市人事秘書課

〒726-8601 広島県府中市府川町315

☎0847-43-7111 (代表)

☎0847-43-7194 (広報担当)

HP <http://www.city.fuchu.hiroshima.jp/>

HP 《携帯版》 <http://city-fuchu-m.plimo.jp/>

※右のQRコードからアドレスを読み取ることができます。

